



↑7月に市の人権擁護委員・NTTドコモの方を講師に招いて行った
スマホ・ケータイ安全教室の様子

現実の世界では、表情・抑揚など非言語の部分も含めた意思疎通ができるので誤解を生みにくいのですが、SNSの世界では、子どもたちは短い言葉で伝えようとするので、すれ違いが多くなり、トラブルにつながってしまうこともあります。子どもたちがよく使う「やばい」という言葉ひとつをとっても、「良い」意味で使っているのか「悪い」意味で使っているのか、文字だけでは伝わりません。



悩み・不安があれば

だれにでもいいので すぐ相談を



初島中学校 教頭
出口 雄三朗 先生

これからの社会を生きる子どもたちにとって、「携帯を持たない」という選択肢はなくなっていくと思います。伝えたいことをきちんと伝えることができるよう「言葉」の力を身につけ、SNSを上手に使っていきけるように、学校でもサポートしています。授業の中でも「言葉」の大切さをしっかりと学び、NTTドコモさんや市の人権擁護委員さんと一緒に「スマホ・ケータイ安全教室」を開催し、SNSの上手な使い方を学べる機会を設けたり、人権について考える授業を展開したりと、様々な機会を設けています。

SNSで悩んだ時、不安がある時など、しんどい時はすぐに相談してください。携帯を持って相談に来てくれても良いです。先生でも、友達でも、誰にでもいいので言いやすい人に、相談してください。

SNSをうまく使えますか？

インターネットは情報の収集や発信の手段として、私たちの生活を便利にしています。その一方で、近年ではメールやソーシャルネットワーキングサービス(SNS)、掲示板などを使ったいじめやトラブルが多発しており、人権侵害につながる事件も発生するなど、特に子どもたちを取り巻く状況が変化しています。便利である一方で、重大な事件につながりかねないSNS。今一度、正確な知識を身につけておく必要があります。

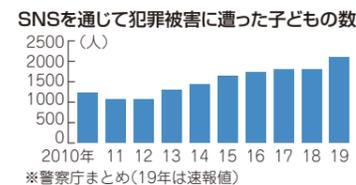
※ SNS ラインやツイッター、インスタグラムなどの交友関係を構築する会員制のオンラインサービス



子どもたちを取り巻く現状を聞きました

NTTドコモ スマホ・ケータイ安全教室事務局 吉川 康雄 さん

Q SNS上でのトラブルはどのくらい増えているのですか？



Q 中高生に多く発生しているトラブルの事例を教えてください。

- 中高生には、
- ・過度な使用による日常生活への支障
 - ・無料通話アプリなどでの悪口や仲間外れ
 - ・なりすまし投稿による誹謗中傷
 - ・SNSやネットで知り合った人による性犯罪被害
 - ・投稿内容から個人が特定
 - ・ゲームに夢中になっている最中に生じた高額課金 などが多く発生しています。

Q 匿名での投稿なら個人が特定されることはありませんか？

アカウントが匿名なら特定されない場合もありますが、SNSにアップした情報から特定される場合があります。例えば写真に電柱に貼ってある住所が映っている、日頃行っているお店が映っているなどです。また、警察が捜査を行った場合は特定されます。

Q トラブルを防ぐためにどのようなことに気をつければ良いですか？

- ・家庭でのスマホを使う場所や時間などのルール化
- ・名前や顔写真・学校名など個人を特定されるような情報は載せない
- ・トラブルが起きたら親や学校に相談できる環境を作る
- ・各通信キャリアが提供しているフィルタリング機能を利用する
- ・SNSの危険な部分をしっかり理解する

言葉のチカラ

言葉は刃になり、集まることで誰かの全てを奪ってしまうことがあります。しかし、言葉は救いの手にもなります。大切なのは、相手を思いやりながら感情に流されずに慎重に言葉を選んでいます。このことを心にとどめて、SNSうまく付き合うようにしたいですね。もし、悩んだり、傷ついたりした場合でも、あなたを守る方法があります。一人で悩まず相談してください。みんなの人権110番

Tel 0570-003110

市では、人権の大切さを伝える動画をネット配信しています。

講演「インターネットと人権」

和歌山大学教授 豊田 充宗 氏
和歌山大学大学院豊田研究室が作成した漫画を取り入れて分かりやすく説明してくれま。ぜひご覧ください。

配信期間 12月10日(木)まで

※図書館でDVDの貸出も行っていきます。有田市にお住まいの方または市内通勤・通学の方が対象です。

※ SNS等で動画のURLを広めることは遠慮ください。

問 市民課 人権啓発係

Tel 22-3558

